

政策シート

2025年度	(管理番号)					担当課名
	分野	基本政策		政策		病院管理課
	05	02	01	05	01	

政策
持続可能な地域医療提供体制の確保（浜松市リハビリテーション病院）

政策の内容

地域におけるリハビリテーション医療の中核病院として、急性期医療と在宅医療をつなぐ相互連携のHUB機能を担うとともに、えんげ・スポーツ医学・高次脳機能など専門的かつ特色あるリハビリテーション医療を提供することで、持続可能な地域医療提供体制の確保を図ります。

生活満足度に関する指標（個別指標）

指標名	質問文	基準値 2024年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
医療の充実	あなたの暮らしている地域では、安心してかかることができる医療機関（病院や薬局など）が充実していると感じますか。	3.54	3.54				

※総合計画基本計画に係る市民意識調査（アンケート）の結果

現状・課題

リハビリテーション病院は、病床利用率95%を超え、高い水準で病床稼働しており、後方病院として地域の急性期病院を支えている。また、2024年7月には、脳神経外科を開設し、脳疾患患者の受入態勢を強化するなど、特色あるリハビリテーション医療を展開し、住民ニーズに応じた医療を提供している。

課題としては、高い病床利用率があるがゆえに、これ以上の延べ入院患者数の増加が見込めないことに加え、2年毎の診療報酬改定において、回復期医療の施設基準の要件が年々厳しくなっており、収益増加への対策が急務である。

政策コストの状況（千円）	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
予算	411,034				
決算	410,470				

※「①事業活動（アクティビティ）」の予算・決算の合計

人工	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
正規職員	1.0				
会計年度任用職員	0.0				
暫定再任用職員（31時間勤務）	0.0				
暫定再任用職員（26時間勤務）	0.0				

①事業活動(アクティビティ)

事業名	事業内容	2025年度 予算 (千円)
		2025年度 決算 (千円)
浜松市リハビリテーション病院負担金	一般会計からの負担金の支出により、後方病院として地域の急性期病院を支えるとともに、えんげセンター、スポーツ医学センター、高次脳センターなど、特色あるリハビリテーション医療を継続的に提供し、持続可能な地域医療提供体制の確保を図る。	411,034
		410,470

※予算・決算は各事業に係る経費を計上



②活動(アウトプット)指標

指標名	指標の定義	設定理由		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
病床利用率(%)	全病床の利用状況を測る指標。 病床がどの程度、効率的に稼働しているのかを示している。	活動の事業量を測る上で、限られた医療資源を余すことなく有効に活用できているかは重要であることから、当指標を設定した。	目標値	-	96	96.2	96.4	96.4	96.4
			実績値	96.0	96.5				
			達成率	-	101%				
一日平均外来患者数(人)	一日の平均外来延べ患者数を示す指標。 一定期間内の外来延べ患者数をその日数で除した割合。	活動の事業量を測る上で、施設の利用者数は重要であることから、当指標を設定した。	目標値	-	150	150	150	150	150
			実績値	152	162				
			達成率	-	108%				
			目標値	-					
			実績値						
			達成率	-					

※達成率は該当年度の目標値に対する実績値から算出する。

③短期成果(アウトカム)指標

指標名	指標の定義	設定理由		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
経常収支比率 (%)	経常費用が経常収益によってどの程度賄われているかを示す指標。比率が100%以上であれば経常利益が生じており、比率が高いほど、経常利益率が高いと判断できる。	安定した経営基盤の確立は、持続可能な医療提供体制を確保するために重要であることから、収益性を測る当指標を設定した。	目標値	-	104.2	102.4	102.3	102.3	102.3
			実績値	103.5	104.3				
			達成率	-	100%				
			目標値	-					
			実績値						
			達成率	-					

※達成率は該当年度の目標値に対する実績値から算出する。

④長期成果(アウトカム)指標

指標名	基本計画 指標	指標の定義		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度	目標値 2034 年度
健康寿命 (歳)	○	健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間	実績値	男性 73.70 女性 75.95 (2022 年度)	2027年 度確定					男性 75.24 女性 78.15
			達成率	男性 98% 女性 97%						
			実績値							
			達成率							
			実績値							
			達成率							

※達成率は2034年度の目標値に対する実績値から算出する。

⑤目的:10年後(2034年)の理想の姿

病気の発症や重症化を予防することにより、健康で自分らしく充実した生活を送っている。
国の医療DXの推進に合わせて、市立医療機関の電子カルテ情報の共有化、予防接種事務のデジタル化が着実に進んでいる。

【2025年度の評価】

「①事業活動(アクティビティ)」の実施内容と事業改善(2026年度記載)

事業名	実施内容	事業改善の内容や今後の方向性
浜松市リハビリテーション病院負担金	一般会計からの負担金の支出により、後方病院として地域の急性期病院を支えるとともに、えんげセンター、スポーツ医学センター、高次脳センターなど、特色あるリハビリテーション医療を継続的に提供し、持続可能な地域医療提供体制の確保を図ることができた。	交付税算定基準の改定状況等を注視し、引続き適正な一般会計負担金を支出し、引き続き持続可能な地域医療提供体制の確保を図っていく。

「②活動(アウトプット)指標」の見直しの要否(2026年度記載)

指標見直しの要否	否

「③短期成果(アウトカム)指標」の見直しの要否(2026年度記載)

指標見直しの要否	否

2025年度の政策の評価と2026年度以降の取組の方向性(2026年度記載)

2025年度は、地域連携サポートセンターの活用により、効率的なベッドコントロールを行ったことで入院患者数が増加し、活動(アウトプット)指標の「病床利用率」は目標の96%に対し実績は過去最高の96.5%、また脳神経外科の外来患者が順調に伸びるとともにリハビリ件数の増加に伴い検査前診察が増加したことで活動(アウトプット)指標「一日平均外来患者数」も目標値150人に対し、実績値162人とともに目標値をクリアした。

短期成果(アウトカム)指標である「経常収支比率」は目標値104.2%に対し実績104.3%と目標を達成した。人件費、材料費が高騰する中でもベッドコントロールの徹底と、費用削減に取り組み活動(アウトプット)指標、短期成果(アウトカム)指標すべてについて目標を達成できたことは高く評価できる。

2026年度は引き続き人件費、材料費が上昇し、診療報酬改定も急性期病院ほどのプラスが見込めないなど、引き続き厳しい社会情勢が継続するものの、地域におけるリハビリテーション医療の中核病院として、急性期医療と在宅医療をつなぐ相互連携のHUB機能を確実に担えるよう安定した病院運営に努めていく。